



第1089号

令和4年4月15日発行

URL <https://shinkyo.or.jp>
shinkyo@shinkyo.or.jp



公益社団法人 信濃教育会
長野市旭町 1098
☎ 026 (232) 2470
編集兼発行人／武田 育夫

わたしたちのねがい…2 教育研究所だより…3
第25回「教育研究論文・教育実践賞」審査結果報告…4～6
研修補助事業のご案内…7 災害見舞金事業のご案内…8～9 講習・講座のご案内…9
研究調査委員公募のお知らせ…10 職員の異動について…10 掲示板…11
リレー通信 わたし自慢③ 独楽寿司とのふれあい 鳥海 康(生坂小学校)…11
100年館の絵 中嶋誠司(七久保小学校)…12
会員ひろば 神谷明子(塩川小学校)…12



宮田村は、古くより「梅の里」と呼ばれ、宮田中の校章もそれに因み梅の花のデザインです。また、校地内には梅並木があり、毎年5月末、地域の皆さんの協力も得て、梅の実の収穫作業を全校で行う伝統が続いています。(宮田中学校)

5月の研修ガイド

- 13日(金) ●新規採用者懇談会 ◎松本市教育文化センター ☆松本市教育会 0263-32-4751
- 14日(土) ●佐久教育会総集会 ◎小諸文化センター ◇「3・11を学びに変える」佐藤敏郎(震災時女川第一中学校勤務・小さな命を守る会 スマートサプライビジョン特別講師) ☆佐久教育会 0267-67-2043
- 下伊那教育会総集会 ◎下伊那教育会館(オンライン) ◇「主体的・対話的で愛のある学び」平田オリザ(劇作家・演出家 芸術文化観光専門職大学学長) ☆下伊那教育会 0265-52-0808
- 木曽教育会総集会講演会 ◎上松町ひのきの里総合文化センター ◇田中要次(木曽町出身 俳優) ☆木曽教育会 0264-22-2239
- 公益社団法人東筑摩塩尻教育会講演会 ◎塩尻市文化会館レザンホール 大ホール ◇「子どもと本をつなぐ大人の役割」宮西達也(絵本作家) ☆東筑摩塩尻教育会 0263-32-1187
- 中野・下高井教育会総集会 ◎中野小学校体育館 ◇会員意見発表、「SDGs とメディアリテラシー」下村健一(元 TBS アナウンサー・白鳳大学特任教授・メディア研究所主宰・元内閣審議官) ☆中野・下高井教育会 0269-22-2817
- 飯水教育会総集会講演会 ◎飯山市文化交流館なちゅら ◇「すべては子どもたちの幸せのために」比田井和孝 ☆飯水教育会 0269-62-2531
- 長野上水内教育会総集会 講演会 ◎長野上水内教育会館(参集とオンライン) ◇小平奈緒(ファシリテーター/結城匡啓) ☆長野上水内教育会 026-226-2458
- 18日(水) ●上伊那教育会総研集会「仰望の日」◎伊那文化会館大ホール ◇会員発表、「AI がもたらす未来 ～人工知能の現在とこれからの社会～」池谷裕二(脳科学者 東京大学薬学部教授) ☆上伊那教育会 0265-72-3416
- 19日(木) ●新任者研修懇談会 ◎中野・下高井教育会館 ☆中野・下高井教育会 0269-22-2817
- 名称 ◎会場 ◇演題・講師等(講師名敬称略) ☆連絡先

子どもたちの健やかな成長のために

創立の精神を継承し、会員相互に協力して教育精神の高揚と資質の向上に努め、公正中立を持って県民と共に新しい時代の信州教育の創造を図る

信濃教育会は今年で創設136年を迎える長野県内の多くの教職員が集う職能団体です。

子どもたちの健やかな成長のために、教職員自らが学び続けること、つまり私たち自身の「職能向上」が一つの目標です。

そしてそのために、会員同士が助け合い、協力し合うのがもう一つの目標です。

信州の教職員は自ら求めて研修に励み、自らを高めようと努力してきました。信濃教育会の研修は「学びたいときに、学びたい人が、学ぶことができる」研修です。

一人ひとりの会員の力が集まって「新しい時代の教育」ができます。会員の皆さん、力を合わせ子どもたちの未来を共に創っていきましょう！



教育実践の「振り返り」と「学び合い」

令和4年度 創設76年目を迎え、
新しい研究員の研究が始まりました

第76期研究員の先生方6名を迎え、下記
研究テーマに基づき研究に取り組めます。

第75期研究員の先生方6名は、教育現場
に戻り、実践研究に取り組んでいます。

※本年度から研修員を研究員と改めました。



令和4年度研究員（76期）

- 第1テーマ 小川 敦嗣
小野光太郎
- 第2テーマ 赤羽 雄太
福島 章浩
- 第3テーマ 伊藤 葉子
黒岩 誠

研究テーマの紹介

- 第1テーマ
教師と子ども，子ども相互の関係づくり
- 第2テーマ
子どもの学びが深まる授業づくり
- 第3テーマ
今日的な課題に対応する多様な学び

研究発表会 —2年間の研究成果を現場に還元します—

令和4年度教育研究所の研究発表会は下記のような予定となっています。第74期研究員が1年目の入所期間と2年目の現場実践の中で行った研究報告をもとに発表します。参加される先生方と共に学び合う場にしたいと考えています。

日時および会場

6月18日（土）	千曲市立東小学校	東北信A地区
7月9日（土）	長野市立南部小学校	東北信B地区
7月16日（土）	木曽町立日義小学校	中信地区
7月23日（土）	飯田市立伊賀良小学校	南信地区

新型コロナの感染状況によっては、生涯学習センター（7/9）と信濃教育会館（7/23）の2会場とすることも想定しています。

土曜公開講座 —研究員に限らず広く教職員のみなさんに参加いただけます。

所長や特任所員による講話や参加者の授業実践等を通して学び合います。教師としての力量を高めるとともに、教育研究所と学校現場との交流を深めます。昨年度も大変好評でした。

	期日（予定）	会 場	講 師
第1回	5月14日（土）	長野市 信濃教育会館	佐伯 胖 所長
第2回	9月3日（土）	安曇野市 生涯学習センター	松木健一 特任所員
第3回	10月22日（土）	長野市 信濃教育会館	岩川直樹 特任所員
第4回	12月17日（土）	長野市 信濃教育会館	奈須正裕 特任所員

令和3年度 第25回「教育研究論文・教育実践賞」 審査結果報告

第25回「教育研究論文・教育実践賞」の審査が終了しました。多数のご応募ありがとうございました。

【審査委員】

村松 浩幸（代議員会代表・信州大学教育学部教授） 工藤 信一（外部審査員・信濃毎日新聞社論説委員）
海沼 敦（常任委員会代表・篠ノ井西小学校長） 下 育郎（幹事会代表・長沼小学校長）

【応募総数及び入賞者の内訳】

賞	個人の部	グループの部	合計
特 選	1	1	2
準特選	3	2	5
入 選	7	3	10
佳作・奨励賞	93	22	115
合計	104	28	132

【総評】 審査委員長 村松 浩幸

第25回「教育研究論文・教育実践賞」に対して、今年度はここ4年ほどで一番多い132点のご応募をいただきました。昨年に続きコロナ禍の制約がある中、日頃の実践の成果をまとめ応募いただきましたことに深く感謝申し上げます。

今回の応募論文・実践の特徴としては、小・中学校のみならず、特別支援学校、さらには高等学校からの応募があったことです。また、初任の方からベテランの方まで幅広く応募もいただきました。同時に、今年度からスタートした特別テーマ「学校づくり」にも複数のご応募をいただきました。本賞が多くの学校種、先生方に広がっていくことは、信濃教育会の取組の広がり、さらには「信州教育」の水準向上の観点からも重要です。今後も多様な教育研究、実践の応募が増えていくことを願いたいと思います。

最終審査に残った応募論文・報告を拝読すると、先生方の熱意とアイデアに溢れる取組とともに、生き生きと取組、そして変容していく児童・生徒の姿に心動かされました。教育研究論文である以上、論理的な構成や実証的な示し方、参考文献等は必要になりますが、それ以上に児童・生徒の姿、その学びが読み手に伝わってることがより必要であると考えています。その点からも、最終審査に残った応募論文・報告はどれも素晴らしいものでした。多くの皆様に是非読んでいただきたいと思います。

この「教育研究論文・教育実践賞」が、「信州教育」の明日の一步へとつながることを願ってやみません。

【後 援】長野県教育委員会 長野県市町村教育委員会連絡協議会 長野県小学校長会 長野県中学校校長会
長野県特別支援学校校長会 長野県高等学校長会 長野県 PTA 連合会 信濃毎日新聞社

個人の部 特選

障がいの重い子どもの「生きる力」育成を 目指した記録とアセスメントの活用 長野県花田養護学校 磯 愛香



本校の子どもたちに、自分で自分の心地よい生活をつくる力を身につけて欲しいと願っています。そのため、周りの先生方と協力し取り組んできた実践に評価を頂けて大変嬉しく思います。

【講評】下 育郎

「個に応じた指導」とよく言われるが、特別支援学校では、それが最も必要な場所であり、支援の内容が益々厳密に問われてくるものと改めて考えさせられた論文であった。

まず、「生きる力」を「自分で自分の心地よい生活をつくる力」と定義し、Aさんの具体的な変化を追いながら、研究を進めている。Aさんの今ある姿を丁寧に記録・分析し、支援につなげるための仮説をいくつか導き出し、その仮説の有効性を日々のAさんとのかかわりの中で実践（立証）し改善を試みている。仮説立証型かつAさんが具体的に姿を通して行われた研究には、温かさや優しさに加え、支援の緻密さが感じられる。そして何より、子どもの内面を分かりたいと努力する教師の熱意が伝わってきた。

「生きる力」を「自傷行為以外で相手に伝える力」「感覚に過敏性のあるAさんが人と触れ合う心地よさを感じる力」「外界に興味をもち自分からかかわりをもとうとする力」の3つととらえ、Aさんにしか通用しない支援の模索を継続して行う教師のたゆまぬ努力が感じ取れた。また、同僚教師の協力を請い、校内で支援の一貫性を図るため、互いの記録を大切に、その中から具体的支援の道筋を決めだしたことも大きな成果として挙げられる。

どの校種においても、「個に応じた支援」は、今後益々重要な課題となってくるだけに、示唆に富んだ貴重な論文といえる。

グループの部 特選



「主体的に学ぼう」とする生徒や教師がいる学校づくり ～大規模校において、生徒や教師が自主・自立し、 多様性を認める気風を創り上げた実践を通して～

伊那市立東部中学校 教科研究委員会

「子どもを真ん中にしてやわらかく包み込む学校」を目指し、県内有数の大規模校が4年間学校づくりに取り組みました。主体的に学ぼうとする本校の気風はどう創り出されたか。この実践が少しでも役に立てば幸いです。

【講評】海沼 敦

県内有数の大規模校で、主体的に学ぼうとする姿を求め、生徒・教師がそれぞれの立場で学びに向かう気風を創り上げてきた4年間の歩みである。「凡事向上」という目標を掲げた新たな学校づくりにおいて、研究主任を中心にした教科研究委員会が、「学力向上」というキーワードを掲げて継続的に取り組んだことに敬意を表したい。

東部中学校の教科研究委員会では、生徒の実態分析とそれを踏まえた「振り返り」を重点とした授業改善等を進めた。次に、真の「主体性」とは遠いとの振り返りから、授業を創り上げていく視点として「学び合い」styleを作成し、全教科での取組を促し、教科からの改善案を教科主任会や職員会議で共有するなどして全校の取組とし、校内OJTも推進した。また、「学び合い」styleに寄せて、教師と生徒が一堂に会して全校学習集会を実施したり、空き教室を活用した多様な学びの場を創設したり、自らの学びをコーディネートする力の育成の視点から家庭学習のあり方を見直したりした。そのような中で、生徒自身が学習委員会を立ち上げ、よりよい学びについて考えるなど主体的な姿を見せている。

自校の課題を踏まえ、生徒を真ん中にして、学年や教科の枠を超えた学校づくりを展開した本取組は、いずれの学校でも参考にしたいものである。

個人の部 準特選

【講評】 工藤 信一

保健指導におけるICTの活用

長和町立和田小学校 松永 志織

【講評】 初任2年目の養護教諭が意欲的に取り組んだ。ICTを生かし、子どもが自分の状態や変化を客観視できるようにした点も評価できる。とはいえ、まずは手探りでやってみたというところにとどまる報告だ。これからどう深めていくか。今後に期待したい。

学習者が主体となる説明的な文章の授業

～文章における筆者の工夫、対象に寄せる筆者の思いに着目して～

箕輪町立箕輪中学校 藤井 篤徳

【講評】 子どもたちが苦手とする説明的な文章をどう扱うか。小学校から身につけてきた力も踏まえて、読むことの意味や面白さを伝える実践である。授業の構想もしっかりしている。ただ、その分、子どもが主体になりきらず、教師がお膳立てした通りになってしまった感がある。

ふるさとと歴史を実感的に学ぶことを通して、「ふるさと愛を育み、自己の生き方につなげる」社会科学習の実践 ～生徒たちから学んだキャリア教育のよさを生かして～

天龍村立天龍中学校 中島 博文

【講評】 地域史の資料を掘り起こして子どもたちの学びにつなげたことは、参考にすべき点がある。歴史と総合を組み合わせた実践としても興味深い。熱心で力が入っているが、これを「キャリア教育」と言うのはやや無理がないか。

グループの部 準特選

小規模校の利点を生かした体力向上の取り組み

～体育学習におけるバランス力を高める用具の教材化と日常生活での活用を通して～

辰野町立川島小学校 川島小学校研究部会

【講評】 全校児童11人の川島小は体育の授業を全学年で行っているという。異学年とのかかわりをはじめ、極小規模校ゆえの利点をどう生かし、体力づくりにつなげるか。子どもたちの実態からスタートし、体力テストや足形の記録も踏まえて実証的に考察した。現場の熱意と工夫が伝わる。

コロナ禍での学び 子ども会社『ならにこ漆器会社』の挑戦

塩尻市立木曾檜川小学校 ならにこ漆器会社

【講評】 地元の漆器祭がコロナ禍で延期になり、6年生が代々続けてきた出店ができなくなった。自ら手がけた漆器の販路を広げようと設立した「ならにこ漆器会社」も窮地に。それでも、めげずに知恵を出し合い、奮闘する子どもたち。生き生きとした姿が見えてくる実践報告である。

入 選

子ども達が学びの中心となるには

佐久市立岸野小学校 畔上 祐衣

私自身があこがれを抱いた子どもの姿

伊那市立伊那小学校 原 宏典

鉄道を麻績に通す ～地域素材の教材化と先人の働きについて学ぶ子どもの思考～

麻績村立麻績小学校 草間 隆志

共感的な人間関係を育成し、「対話」を支える学級活動 ～二年間の話し合い活動「クラス会議」の実践を通して～

千曲市立治田小学校 木下 将志

複式への移行期にある山間地小規模校の挑戦 ～「学校で地域を学ぶ学習」から「学校と地域がつながる学習」へ～

長野市立七二会小学校 西澤 佳代

「やってみたい」から生まれる、自由な発想で広がる魅力ある授業 ～箱ひげ図の解釈を図る学びの様子から～

松本市立会田中学校 藤原 賢志

学年の外国語科につながる外国語活動の授業づくり

松本市立岡田小学校 磯尾 智子

「産川」を発信 ～民話『小泉小太郎』を通して～

上田市立川辺小学校 総合的な学習の時間グループ

ガリバーともっとなかよくなろう

伊那市立伊那小学校 伊那小3学年

総合的な学習の時間「小谷学」発、「小谷が動く」～地域の人々の心を動かしミニ塩の道祭りの実践より～

小谷村立小谷中学校 小谷中学校3学年会

自主研修の充実に向けて大いに活用を！

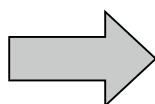
「短期視察研修補助事業」

「自主的校内研修補助事業」

この二つの事業は、先生方が県内外の教育活動を見てみたい、校内でみんなで集まって研修をしたいがお金がない、このように今研修したい人を皆さんの会費で助成する事業です。昨年度は、会員アンケートで以下のような感想をいただきました。

【感想】

- 研修を実施しながら会員相互の親睦も図れた。
- 申し込み手続きを簡素化してほしい。



手続きの簡素化

- ・申請用紙に振込先を記入していただくようにしたので、1度で手続きが済みます。
- ・職印は不要としました。
(申請書、報告書)

そこで、本年度は右のように変えました。

また、自主的校内研修補助事業は、高等学校も申請可能となりました。

多くの会員・学校からの申請を待っています。

■ 短期視察研修補助事業

- 1 研 修 先 主に県外の学校や教育機関（事情により県内も可）
- 2 研 修 期 間 1日～5日
- 3 補助の内容 ・視察研修に伴う補助（補助金：1日 15,000円を基本額とし、以後1日につき5,000円をプラスする）
・後補充者の紹介
・後補充者の謝礼及び保険にかかわる費用の補助（1日 5,000円）
- 4 申 込 方 法 所定の申込書に必要事項を記入の上、校長経由で信濃教育会会長宛に提出する。
- 5 申 込 期 限 随時
- 6 報 告 書 視察研修後、校長経由で提出する。
- 7 募 集 人 数 10名程度
- 8 そ の 他 信濃教育会の会員とその会員の所属校。

■ 自主的校内研修補助事業

- 1 補 助 対 象 会員のいる学校（小学校・中学校・特別支援学校・義務教育学校・高等学校）
※特別支援学校は、学校全体でなく、小学部や中学部など、部単位での自主的研修も可
- 2 補助の内容
 - ① 補助金の金額等 $10,000 + 20,000 \times \text{会員率}$ （会員数／県費教職員数）（最高30,000円）
※県費教職員数は、非常勤講師を除く
※会員数は、自校の信濃教育会の会員全て
注：講師謝礼の場合、校内講師は対象外
 - ② 信濃教育会所蔵の資料の貸出し（資料の相談、紹介等）
※貸出し、返却方法についてはお問い合わせください。
- 3 申 込 方 法 所定の申込書に必要事項を記入の上、校長経由で信濃教育会会長宛に提出する。
- 4 申 込 期 限 7月末日
- 5 報 告 書 研修後速やかに提出する。（最終締切 2月末日）

2事業とも、信濃教育会会長が補助対象者及び対象校を決定し、通知します。

申込書は、各学校へ3月に送付しました。信濃教育会ホームページにも掲載しています。

問い合わせ先

信濃教育会 事務局 026-232-2470

信濃教育会ならではの相互扶助精神から生まれた掛金なしの

災害見舞金事業のご案内

会員であれば、見舞金を受け取れます

日常生活の
災害も
見舞金の
対象となります

見舞金の内容



死亡・災害による入院・通院等

見舞金内容	会務遂行中	会務以外
死亡・高度障害	350万円	150万円
災害による後遺障害	30～90万円	10～70万円
災害による入院 (1日あたり・最大120日)	5,500円	5,000円
災害による通院 (1日あたり・最大30日)	3,500円	3,000円

※ 会務:信濃教育会及び各教育会が主催する事業(研究大会・委員会・会議等) ※ 災害による入院・通院…事故発生日から180日以内に受診したもの
※ 災害による通院(会務遂行中)は2018年12月1日より適用 ★ 災害による通院(会務以外)は2020年4月1日より適用



自然災害による不動産の損害

見舞金額

上限100万円 ※当該損害金額 - 10万円

※ 自然災害:風災・火災・水災・ひょう災・雪災・落雷・噴火・地震 等 ※ 会員及び配偶者、被扶養者が所有する不動産が対象
※ 会員以外(会員の配偶者・被扶養者)が所有する不動産の損害の場合、算定見舞金額の30%を支給

会員の声

台風19号で自宅が全壊しました。100万円もの災害見舞金をいただきました。どう再建しようかと悩んでいましたが、お見舞金で再建決断の後押しになりました。信教に入っていて良かったです。(お礼の手紙より)

このたびは、私のけがに対し、過分なお見舞金をいただき、ありがとうございました。こんなにすぐいただけるとは思っていませんでしたので驚いております。また、教育会の活動以外での給付にも感謝いたします。普段の運動不足がたり、腕をついただけで骨が折れてしまうという情けい話で、今後はこのようなことが無いよう気をつけて、子どもたちと遊んだり活動したりしていきたいです。本当にありがとうございました。

まずは、お電話を!

申請の請求・お問い合わせ先
～申請は必要事由が発生してから2年以内～

公益社団法人 信濃教育会 総務・会計部

☎026-232-2470

〒380-0846 長野市旭町1098番地
[FAX]026-232-1892 ✉kousei@shinkyo.or.jp



令和3年度の見舞金支払状況

〈見舞金交付該当数と見舞金総額〉

該当数：22名（件） 総額：4,123,000円

内訳と詳細	該当数	見舞金支払額
死 亡	2 名	3,000,000円
災 害 入 院	6 名	160,000円
災 害 通 院	25名	963,000円
自然災害による 不動産の損害	0 件	0円

令和4年3月31日現在

講習・講座のご案内

※詳細につきましては各校配布のご案内または
信濃教育会ホームページをご覧ください。

オーケストラ 6月24日(金)・25日(土) 信濃教育会生涯学習センター

講 師 木村 美音子 先生（信濃教育会オーケストラ常任指揮者・洗足学園音楽大学講師）

内 容 ・基本的な奏法 ・楽曲のアナリーゼ ・合奏練習
・弦楽器、木管楽器、金管楽器、打楽器等楽器別の研修・練習
（合奏の組み立て方や弦楽器の奏法等の見学も可能）

受講対象 信濃教育会会員を基本としますが一般参加者も受講できます。
聴講希望者および演奏体験希望者も参加できます。

受 講 料 無料

問 合 せ 信濃教育会生涯学習センター（細萱）TEL 0263-72-9991

理科観察・実験講習会 8月 県内4ブロック

講 師 理科学習帳研究委員会ブロック委員・外部専門講師

内 容 新しい単元や学習内容に準拠した観察や実験方法の講習
【東信】8月4日（木）上田創造館
【南信】8月1日（月）伊那創造館
【北信】8月2日（火）飯山小学校（仮集合場所）
【中信】8月3日（水）松本市教育文化センター

受 講 料 信濃教育会会員：無料 信濃教育会会員外：500円

問 合 せ 教科用図書編集部（宮下） TEL 026-232-5201

（理科観察・実験講習会のご案内は6月に配布予定）

掲 示 板

令和4年度「『極意』伝承道場」が始まります！！

教師としての質が高まります

教科指導や地域学習、学級づくり、生徒指導、特別支援教育、不登校生への支援など、優れた実践を積み重ねている指導者の先生から、貪欲に学んでみませんか！

1年後には、教育の方法ややり方だけでなく、教育の本質（教育の目的とは、よい授業とは、よい教師とは等）について、一步高まった自分を発見できますよ！！

詳細は、学校へ配付されている「『極意』伝承道場」のご案内をご覧ください。

お問い合わせは、信濃教育会担当清水までご連絡ください。

電話 026-232-2258 です。

「信州教師塾A Vol.1」を開催します！

テーマ 長野県教員採用選考対策について
～筆記試験・小論文・集団面接について～

長野県の教員を目指す方

すべて参加可能です

5月21日(土) 9:00～12:00

☆オンライン(Zoom)開催 ☆受講料 無料

☆5月13日(金)までに、

QRコードよりお申し込みください。



今回のみの
参加でも大丈夫です。
お待ちしております！

リレー
通信

わたし自慢 ③2

独楽寿司とのふれあい

生坂小学校 鳥海 康



教材研究の過程で知り合いとなった東京、神奈川でチェーン展開をする独楽寿司の副社長とのかかわりを書きたいと思います。独楽寿司は、朝仕入れた魚をその日のうちにお客に提供している寿司店です。シャリは、100%麻績村・筑北村産の天日干し米を使用しています。取材をするうちに取材以上に様々なことを個人的に勉強させていただきました。

「漁獲制限のため天然本マグロの生産量が減り、養殖の研究が盛んになってきている」という新聞記事を授業で使うことから「これは寿司屋にとって大問題では？」という



問いに対し、「食べ比べてみましょう」という解答でした。店に何うと、思った以上に様々な魚の天然物と養殖物が用意されていました。目隠しをして食べるわけではないので、見た目も味も違いがよく分かりました。天然だから良い、値段が高いから良いのではなく、個人の好みの問題となるというお考えでした。店で提供している品のレベルを把握しておく必要があり、一流とよばれている店に時々食べに行くのだそうです。なかなか予約が取れないと残念がっていました。

修学旅行は業者の方に独楽寿司訪問を中心としたコースを考えていただきました。最終的には、朝どりの魚のおいしさ、お寿司のおいしさを伝えたいという好意に甘え、握り寿司体験をさせていただきました。一般のお客さんも入る中、とても心地よい時間となりました。

予告



私の「学級づくり」

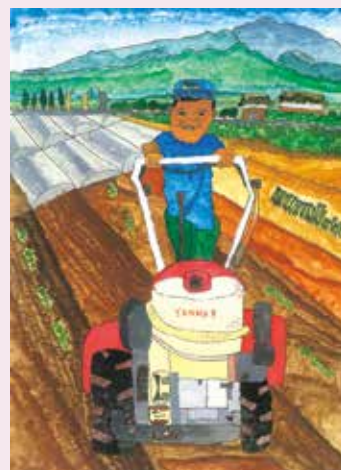
学校に新品のミニトラクターがやって来ました。総合の時間で畑を耕すときに交代で耕耘してみました。広い畑がみるみる耕されていきます。汗を流して耕し終わった後の嬉しいような笑顔。そのとき「〇〇くんが嬉しいと腰がクネってするんだよね」とみんなで大笑い！そんな様子を描写しています。

描いたY君は生真面目な性格で、表現活動には苦手意識があります。迷って筆が止まったときは「何色にみえる」「色の濃いところはどこかな」と一緒に考えながら進めていきました。満足するまで混色や試し塗りを繰り返しながら一筆一筆丁寧に描きました。周りの友だちが描き終わっても最後の一筆まで一生懸命に色を着けていた様子が記憶に残っています。

指導者
中嶋 誠司（七久保小学校）

100年館の絵

令和3年度 永年保存作品
今を生きる子どもの絵



「耕しきった心汰くん」
吉沢 優希（七久保小5年）

信濃教育博物館所蔵

会 員 ひ ろ ば

「ひまわりのおか」の本から

「ひまわりのおか」、この本は2011年3月11日に宮城県石巻市の大川小学校で、東日本大震災による津波に襲われて亡くなった子どものお母さん達が、天国の愛する子ども達への思いをひまわりに込めて、育てていくという実話です。



私はこの本を初めて読んだときに、お母さん達の思いに涙が止まりませんでした。いつか、子ども達に読み聞かせをしたいと思っていたところ、5年生の保健体育の「命」の学習で読み聞かせをする機会を得ました。子ども達は「自分の命は一つしかないから、大切にしたい」「一人一人の命は家族が大切さを知っている」「生きている今を大切にしたい」と、感想を書きました。一人一人がお母さん達の思いに寄り添い、何かを感じ、命について深く考えることができたのだと思います。

この命の授業は、私にとっても改めて生きていることの尊さに気づかされた、忘れられない授業となりました。それと同時にこの本を通して震災の記憶を風化させないよう努めていきたいと思いました。

（ひまわりのおか 文 ひまわりをうえた8人のお母さんと葉方丹 出版社 岩崎書店）

（塩川小学校 神谷明子）

教職員川柳

ジェンダレス 新入学児 皆キャップ
昨年「金」 年明け冬期も 金メダル
半年後 またまたラッシュ 金銀銅
十代が メダルに五冠 大活躍
春草や 大雪どもが 融けし跡
(青クリリン)
(青クリリン)
(青クリリン)
(青クリリン)
(芭蕉二世)

ご応募お待ちしております。

投稿はメールでお願いいたします。kaihou@shinkyo.or.jp

「信濃教育会報」カラー版は信濃教育会ホームページの「会員のページ」でご覧いただけます。

